

五十嵐威暢の最期まで監修したデザインプロダクト

この度、株式会社タカタレムノスは五十嵐威暢氏デザインによる掛け時計「earth wall clock(アースウォールクロック)」を、2025年10月6日に発売します。

「earth wall clock」は、五十嵐威暢氏が生前最後にデザイン監修したプロダクトです。 氏の美意識と造形哲学が結晶した、まさに "時を超えて生き続けるデザイン"。

ラインアップは、earth wall clockブラック、earth wall clock lessホワイトの2色フレーム展開。 インテリアに調和しながらも強い存在感を放ち、世界中のデザインファンに新たな時間のあり方を提案します。

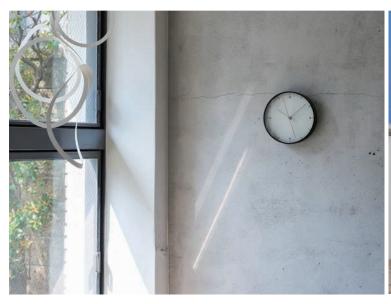
是非、ご注目をいただけますよう、ご案内申し上げます。



Lemnos は、1966 年服部時計店工場精工舎 (現セイコークロック株式会社) との取引を開始し、本格的な時計事業を開始しました。自社ブランドとして開発した GANBARA「HOLA」(デザイン: 川崎和男) が 1989 年にグッドデザイン賞やニューヨーククーパーヒューイットミュージアムの永久展示品に選定され、デザインクロック ブランドとして大きな一歩をスタートさせました。



五十嵐威暢の最期まで監修したデザインプロダクト





五十嵐威暢の最期まで監修したデザインプロダクト 時を超えて蘇るデザイン "earth wall clock アースウォールクロック"

1987年、世界的デザイナー五十嵐威暢はOUNブランドより「ball clock」を発表し、時計を単なる時間を示す道具から、空間を彩る造形物へと深化させました。その後2019年、同作をベースに再構築された「earth clock」が誕生。時計の針が地球の自転を想起させるように時を刻む、新たな名作として注目を集めてきました。

そして2025年、ついに「earth clock」が壁掛け時計として新たに進化します。

「earth wall clock」は、五十嵐威暢が 生前最後にデザイン監修したプロダクトです。五十嵐の美意識と造形哲学が結晶した、まさに"時を超えて生き続けるデザイン"。

ラインナップは、earth wall clock ブラック、earth wall clock less ホワイトの2色フレーム展開。 インテリアに調和しながらも強い存在感を放ち、世界中のデザインファンに新たな時間のあり方を提案します。



earth wall clock
TIL25-06
4515030102472



earth wall clock less TIL25-07 4515030102489

■ earth wall clock / earth wall clock less

寸法: ϕ 200×d42mm 重量: 485g 素材: アルミニウム、ガラス

価格:16,500円(本体価格15,000円)



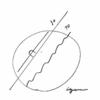
五十嵐威暢の最期まで監修したデザインプロダクト





1987年にデザインされた Ball clockの復刻バージョン

1987年に五十嵐威暢がOUNのためにデザインした「Ball clock」の復刻バージョンです。 文字盤は2種類で、ボディは黒・白の2色。表面に波型の凹凸をつけたものと、 滑らかな球体で仕上げた2タイプの展開です。



時計をデザインすることになった当時、彼は球体の時計がつくられていないことに気付きました。 球体は地球のイメージとつながり、地球の70%をしめる海面を時計ボディで、我々の暮らす大地となる 残る30%を透明なドームで覆った文字盤部分で表現しました。大地の上では、秒針が秒針を追いかけ 流れるように滑らかに動き続け、眺めていると、時が経つのを忘れてしまうかもしれません。



earth clock TIL16-10 BK ブラック 4515030075646



earth clock TIL16-10 WH ホワイト 4515030075653



earth clock less
TIL19-09 BK
ブラック
4515030075660



earth clock less TIL19-09 WH ホワイト 4515030075677

■ earth clock / earth clock less

寸法:w100×h100×d100mm 重量:465g 素材:アルミニウム、ABS樹脂、アクリル

価格:18,700円(本体価格17,000円)



五十嵐威暢の最期まで監修したデザインプロダクト

Designer / 五十嵐 威暢 Takenobu Igarashi

彫刻家、デザイナー。

アクソノメトリック図法によるニューヨーク近代美術館のカレンダー、立体アルファベット、サントリーホール・カルピスのVIデザイン、OUNやYMDのプロダクトなど、グラフィック・プロダクトデザイナーとして活動し、世界的な評価を受けている。1994年、彫刻家に転身。木、石、金属、テラコッタ、ステンドグラスなど、様々な素材でパブリックアートとしての作品を数多く制作している。多摩美術大学名誉教授。 www.takenobuigarashi.jp







About Lemnos

Lemnos は、1966年服部時計店工場精工舎(現セイコークロック株式会社) との取引を開始し、本格的な時計事業を開始しました。自社ブランドとして開発した GANBARA「HOLA」(デザイン:川崎和男)が 1989 年にグッドデザイン賞やニューヨーククーパーヒューイットミュージアムの永久展示品に選定され、デザインクロックブランドとして大きな一歩をスタートさせました。その後も、渡辺力や安積伸、安積朋子、塚本カナエなど、国内外で活躍する著名なデザイナーとプロジェクトを組み、アート性、デザイン性に富んだ数々の名品を発表。グッドデザイン賞を多数獲得し、国内外で高い評価を得ています。Lemnos のプロダクトは、職人の研ぎ澄まされた手の技によって、ひとつひとつ丁寧につくられています。

素材と対話し、その素材が持つ魅力を最大限に引き出す。その結果、流行に流されることのないデザインが生まれる。

Lemnos は、革新的で、かつ永続的な美しさを提案し続けます。

東京ショールーム・オフィス

〒112-0012 東京都文京区大塚3-7-14 シャノワール文京1F 10:00 - 18:00 定休日/土・日・祝日

本件に関するお問い合わせ

株式会社タカタレムノス

営業企画部・広報担当: 菊地

m: press@lemnos.jp www.lemnos.jp **t**: 03-5981-8120 **f**: 03-5981-8365